

平成 26 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市西部コミュニティセンター及び交楽園	所管課	市民協働推進課
所在地	岐阜市下鵜飼一丁目105番地		
指定管理者名	岐阜市西部コミュニティセンター運営委員会		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	17,403,428円(平成26年度)		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与すること		
施設概要	敷地面積 3,780㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 2,239.77㎡ 防災会議室、集会室、教養娯楽室、生活相談室、大集会室、小会議室、料理教室、チビッ子室、駐車場 岐阜市西部図書館(併設施設)、岐阜市西部ふれあい保健センター(併設施設)		

●利用状況

		H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期
利用者数(単位:人)		21,668	23,945	21,536	24,770	23,031
各室稼働状況(%)	防災会議室	72.8	72.8	74.4	72.9	76.7
	集会室	38.2	38.9	38.2	39.3	38.6
	教養娯楽室	24.6	32.0	26.5	32.7	34.4
	生活相談室	14.4	19.9	19.9	26.7	19.1
	大集会室	45.2	52.3	44.4	51.9	39.5
	小会議室	25.1	28.3	23.5	23.8	25.5
	料理教室	6.8	8.6	8.3	10.8	8.3

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者 サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③コミセンだよりを発行し、構成地域の地域住民を対象にセンターの活動状況などを紹介している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・ 提案事業	下記自主事業の実施 ①自主防災研修会(7月) ②夏休み親子ふれあい教室(7月) ③各国の家庭料理教室(12月) ④消防防災訓練(6月、3月) ⑤コミセンまつり(3月) ⑥コミセンだよりの発行(9月)	①7/12に実施、約100名参加。 ②7/27に実施、親子13組30名参加。 ③下半期に実施。 ④6/25に実施。 ⑤下半期に実施。 ⑥10/1に発行予定。
施設管理	日常点検 ①消防設備点検(自主点検) ②不審者、危険物(自主点検) 法定点検 ①昇降機保守点検(年1回) 定期点検 ①昇降機保守点検(年4回) ②し尿浄化槽保守(年52回)	日常点検 ①特記事項なし ②特記事項なし 法定検査 ①下半期に実施。 定期点検 ①6/10、9/26に実施。 ②毎週火曜日(又は水曜日)に実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施	日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。
危機管理・ 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市コミュニティセンター条例第7条の規定に基づき実施されている。 ②マニュアルを整備するとともに、年2回防災訓練を実施している。 ③関係法令を遵守し、運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成26年8月1日～31日に実施 84件
利用者アンケートの実施結果	◎ 利用した部屋は 防災会議室 35.3%、集会室 15.2%、教養娯楽室 12.1%、生活相談室 8.1%、大集会室 9.1%、小会議室 10.1%、料理教室 3.0%、併設施設ほか 7.1% ◎ スタッフの対応について 満足 56.0%、やや満足 20.2%、ふつう 23.8%、やや不満 0.0%、不満 0.0% ◎ 施設や設備の管理状況について 満足 50.0%、やや満足 21.4%、ふつう 26.2%、やや不満 2.4%、不満 0.0% ◎ 全体的な満足度について 満足 58.4%、やや満足 22.6%、ふつう 19.0%、やや不満 0.0%、不満 0.0% ◎ 性別 男性 31.0%、女性 69.02% ◎ 年代 20歳未満 8.3%、20代 1.2%、30代 1.2%、40代 7.1%、50代 4.8%、60代 46.4%、70歳以上 31.0%
利用者からの要望・苦情と対応・改善	・駐車場がいっぱいで、駐車できないことがある。 →参加人数の多い団体には、公共交通機関の利用や車に乗り合わせた来ていただいたり、一定の駐車スペースに詰めての駐車をお願いするとともに、可能な限り県造園緑化協会の駐車場を借用していますが、さらなる強化を図っていきたい。 ・防災会議室に時々ゴミが落ちている。 →清掃業者に十分注意するよう指導するとともに、職員も十分気を付けます。 ・防災会議室の冷房の吹き出し口が南側に偏っているため、冷房の効きが悪い。 →設定温度を下げるなど、対応策を空調設備業者と協議します。 ・教養娯楽室(和室)に椅子席を希望します。 →和室用の正座椅子2台を設置します。 ・福祉トイレができてうれしいが、できれば暖房が付いているとうれしい。 →暖房便座となっていますので、ご理解ください。 ・大集会室の全体の明かりがもう少し明るい方が良い。 →照明設備の改修となりますと岐阜市の判断となりますので、市役所の所管課に伝えますが、財源に限りのある中、市内には8館のコミセンがあり、設備の老朽化等による大規模な改修工事や雨漏り修繕など多々あると聞いており、そうしたことなどを勘案しながら検討されると思います。 ・飲み物があるとよい。 →1階に飲料自動販売機を設置しています。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	岐阜市西部コミュニティセンターの運 営上の基本方針	・利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っている か	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌やチラシで広報されてい るか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最 大限発揮す るものであ ること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動 の推進を行っていく上で方針と主な事 業計画	・岐阜市の施策に沿って、地域の生涯学習、コミュニティ 活動の推進に資する業務を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と 主な事業計画	・地域の生涯学習、コミュニティ活動の場として提供され ているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅 力的な提案の有無、内容	・運営委員会事業の内容を常に見直しを行っているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法 及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に 対応しているか	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策 (窓口対応、プロモーション、設備等 の整備など)	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に備品の点検を行い、必要に応じて改善されて いるか	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	指定管理に関する経費の設定額の妥 当性と経費縮減の方策	・収支予算と実績とは大きく離れていないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構 造	・職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出な いようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	必要人材の配置と職能及び人材育成 の方策	・業務に必要な研修を実施し資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全 確保策、防止策、非常時の対応マ ニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態 に対応できる体制ができていないか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われている か	A	A	A
		施設管理を行っていく上での方針と具 体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火 体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」とい う。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもので あること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の 推進のため、ニーズを把握し、地域と 一体となって事業推進ができる組織	・地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成す る運営組織であり、地域に密着した運営が行われている か	A	S	S
		地元の住民の雇用及び貢献に関する こと	・地域に密着した運営ができるよう、地元在住者を職員と して採用しているか ・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか	A	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組みに対する評価	利用者が安心・安全に施設を利用できるように、利用3区分の開始時間にあわせ職員が点検・確認に努めるとともに、必要に応じ、修繕などを行った。 また、稼働率の向上を目指して、サークル活動一覧表を作成し、各自治会や各公民館での回覧及び配布を行い、PRに努めており、新しいサークル団体の設立までには至っていないが、サークル活動の見学者が多く見受けられようになった。
前回までの意見の取組み状況	サークル責任者会議やアンケート調査などの意見を参考に、身近で親しまれる施設となるよう管理運営に努めている。 一方で、利用者が高齢化し、サークル参加人数が減少している中、サークル活動一覧表の配布、あるいはサークル活動の活性化を図る「コミセンまつり」や「親子ふれあい事業」、「料理教室」などを実施し、利用の促進策を図った。
今後の取組み	引き続き、サークル活動の紹介及びサークル活動の活性化策を推進するとともに、エコオフィス運動を実施し、経費節減に努める。また、新たなサークル団体の創設を図るために、生涯学習センターや地域の各公民館などとの連携を図っていききたい。 さらに、利用者が安心・安全、快適に利用できるように、利用者の意見を聴きながら適切な管理運営に今後も努めていく。

●所管課の意見

- ・利用状況等については、前年同期に比べ、利用回数はほぼ同数、利用者数は微増である。
- ・指定管理者の事業については、「消防訓練」や「防災合同研修会」、「親子ふれあい“陶芸”教室」を実施するなど、地域に密着した特色ある事業を実施している。
- ・利用者の声を聴くため、8月にアンケート調査を実施し、利用者の意見を取り入れ、利用者の目線に立った運営がなされており、評価できる。要望等についても、可能な限り迅速に対応しており、適正な運営がなされている。
- ・運営組織は、地域の自治会連合会をはじめ、各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・事故等はなく、施設の安全な管理がなされていると考えられる。
- ・他のコミュニティセンターの利用者アンケート結果については、すべてのコミュニティセンターで共有し、指定管理者相互の意欲啓発に努められたい。
- ・利用者数に応じたスタッフ配置を検討されたい。
- ・併設施設のスタッフと連携した窓口対応をされたい。
- ・若者が利用しやすくなる工夫・多く参加できるイベント企画にも努められたい。